

編集後記

アナを開けるのではないかと、本当にあせりました。

この4月から会誌の担当になりました。伝えてはあったのですが、私、HCDのリーダーもやらされていて、会誌の実務にほとんど手が付いていない状態で7月中、SOSを受けました。私の分も含めて原稿の集まりが非常に悪いという。頼みの鈴木さんを含め連絡しまくりましたが、ほとんど返事は来ない。断片的情報だけしか入らないもので、いらぬところも含め、相当ジタバタした結果、あちこちご迷惑をおかけしました。結局何のことはない、自分の担当のところだけやっておけばよかったです。ある人が一言言っていました。編集ってそういうものヨ。締め切り間近はいつもSOS。

次号はだまされなぬゾ。

(松本正和 昭和45年応化卒)

第1回総会記事を中心とした第2号。いかがでしたでしょうか。酷暑の今夏は、横浜で開催された世界エスペラント大会の運営に汗だくになり走り回っている内に過ぎ去りました。気が付いてみると、会誌第2号の制作もすでに終わり近く。大学の変化も早く、知らない内にシンボルマークが決まっていたほどです。

さて、次号は内容をさらに充実させるべく皆で力を合わせましょう。

(鈴木恵一郎 昭和45年電化卒)

初めての役員、初めての積極的なOB会への参加と惑いながらやってみましたが、第1回総会記事いかがでしたでしょうか。インタビューなどはいい経験でした。事務局の方も大変お世話になりありがとうございました。次号でもがんばっていききたいと思いますのでよろしくお願ひします。

(篠原才司 平成6年物工卒)

会誌・名簿グループに携わる者として、そして横浜国立大学の一員として、国大化学会会誌第2号が発行されることを大変うれしく感じています。

私が同窓会学生委員となってから約半年が経過しました。その中でホームカミングデーの企画や国大化学会実行委員会、総会に参加し活動できることは大変有意義です。特に年を越えた多くの人々と何かを作り上げていく事はめったに経験できることではないために、非常に良い経験をさせていただいていると感じています。

私自身、まだ周りの人に頼ってばかりですが、今後とも学生役員として出来る限りのことを行っていきたいと考えています。

青木大祐(平成20年3月卒業予定、現在4年生)

国大化学会会誌 第2号

発行日 平成19年10月10日
発行責任者 樋口修一郎
編集責任者 松本正和・鈴木恵一郎
発行者 〒340-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5
横浜国立大学工学部物質工学科内
国大化学会
Tel 045-339-3925 (直通)
e-mail: yokochem@ynu.ac.jp
印刷者 〒169-0075 新宿区高田馬場3-8-8
(株)国際文献印刷社 Tel 03-3367-6841